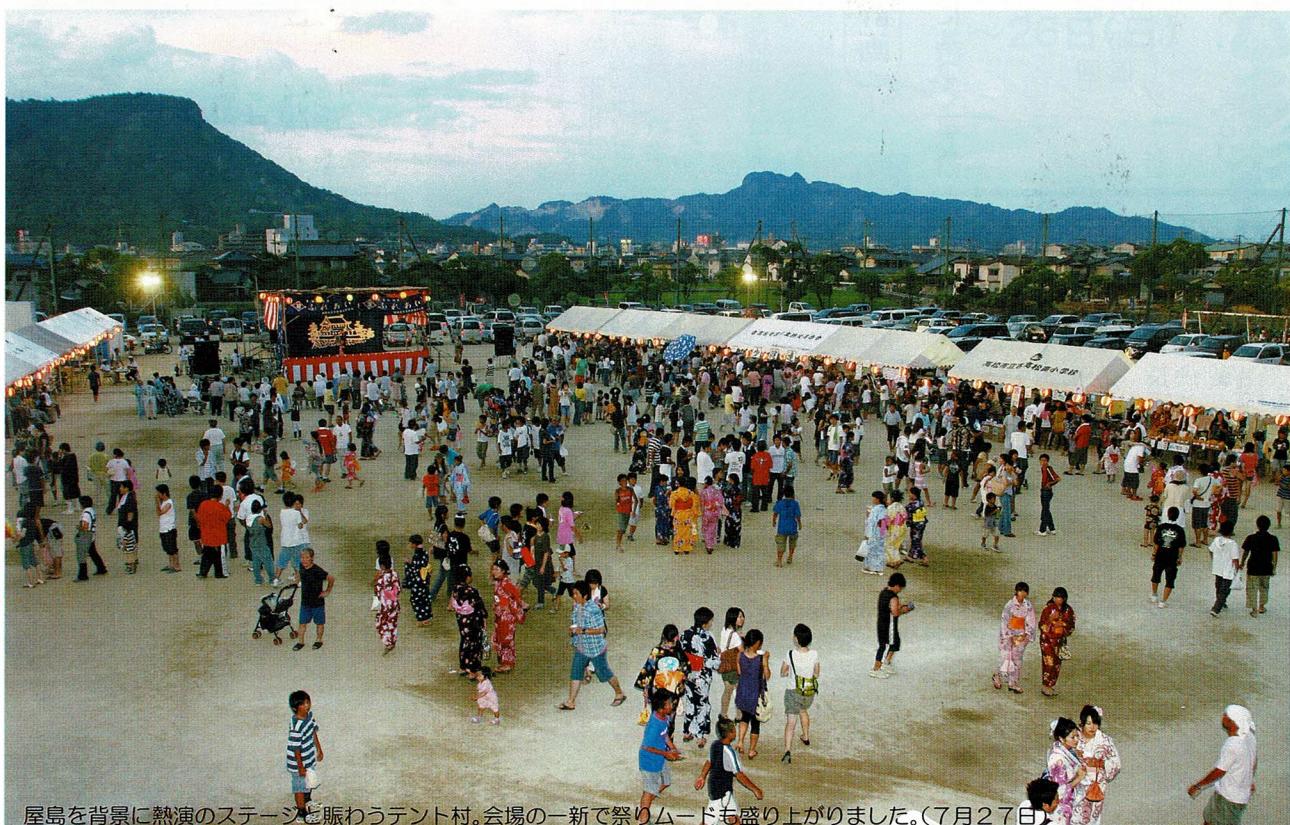


古高松コミュニティ協議会 広報誌



屋島を背景に熱演のステージと賑わうテント村。会場の一新で盛りムードも盛り上がりいました。(7月27日)

みんなでつくるまちづくりは、そこに住む人達の交流や、行事への参加は、もっとも大切な事と考えます。

みんなでつくるまちづくりは、そこに住む人達の交流や、行事への参加は、もつとも大切な事と考えます。まず、飛躍の二十年度へむけての中から、「安心のまちづくり」では、文化・生涯学習部会が、全地域から子ども達を見守る組織として、百七十余名の「歩き人」が六月二十八日の総会を経て、子ども達に同行して集団下校を行ないました。この事は全自治会のご協力のこまちのです。

この事は自治会のご協力のたるもので、また、環境・安全部会が、新たな活動として、県民総ぐるみ運動「街頭キャンペーン」を地区交通安全推進協議会、交通安全母の会と共に、四月にはコーラー西側、七月には宮の原交差点で、安全運転とマナー・ルールの遵守を呼びかけました。

次に、「元気で健やかに暮す環境づくり」として、古高松地区ふれあい「ウォーキルートマップ」を作成し、各ポイント地点に設置して健康・体力づくりコースを開設し、皆さん の利用を図っています。なお、東部運動公園のトリム広場、アスレチック利用も可能です。

前半の主要事業、各団体、地域の皆さんとの協働のもとにで
きましたふれあい事業「旧（ふる）高松城」まつりは、星空
が輝き始めた夕ぐれから、さらにたくさんの方々が参加をさ
れ、かつてない賑わいとなりましたが、最後の花火打ち上げ
が叶わらず、期待されていました皆様には、大変申し訳なく心
からお詫びを申し上げます。最後に後半の事業では文化祭の
開催、防災活動の主要課題「要援護者対策」の検討等、「安
全なまちづくり」を目指します。



古高松コミュニティ協議会

明るい町と健やかな生活環境を

『安全安心なまちづくり』事業推進

—平成二十年度定期総会開く—

古高松地区コミュニティ協議会の平成二十年度定期総会が、五月十七日午後、古高松コミュニティセンター大ホールで開かれ、「安全安心なまちづくり」を目指す新年度の事業計画などを決めました。

総会には、各構成団体の代表者ははじめ来賓らが出席。はじめに全員で「高松市民のねがい」を朗読、加藤直之会長を議長に各上程議案を審議しました。その結果、①平成十九年度事業報告・決算報告②監査報告③平成二十年度事業計画案・予算案④会則の一部改正などについての各議案を、それぞれ満場一致で原案通り承認、役員改選を行いました。平成二十年度事業計画、新役員は次の通り。

平成二十年度事業計画

一、コミュニティプランに基づく事業の推進

①明日へのまちづくり
(企画・広報部会)

・広報誌の発行(年二回)
・リーダー研修会の開催

(婦人防火クラブリーダーを対象)

②健やかに育つふれあいのまちづくり
(文化・生涯学習部会)

平成二十年度役員

古高松地区コミュニティ協議会 会長	加藤直之
副会長	佐々木ナミ工、加藤昭基
理事	村井浩治、上枝基一
	内海重雄
	川田豊、優治
	香松繁崇、文旦
	中坂周作
監事	加藤豊、文隆
事務局	辻司、志、豊、幸男、智子

古高松地区コミュニティセンター 管理運営委員会

委員長	加藤直之
副委員長	内海重雄
委員	佐々木ナミ工、加藤昭基
	村井浩治、上枝基一
	高松豊、文隆
	樽谷和夫、中條文雄
	長町隆司

古高松地区コミュニティセンター 職員選考委員会

委員長	加藤直之
委員	内海重雄、佐々木ナミ工
	村井浩治、上枝基一



完成した第一部屯所

- ・自治会から選出され増員した「歩き人」により、両小学校から各地域までの間で、子どもも達を見守る活動を強化する。
- ③支え合う安心なまちづくり
(健康・福祉部会)
- ・身近な地域の高齢者の方々が気軽に集まり、今一度地域の連帯を深めるために「ふれあいサロン古高松」の振興と定着化を図る。
- ④清潔で安全なまちづくり
(環境・安全部会)
- ・河川一斉清掃など地域内の環境の保全に努める。

二、部会の定例化(全部会)
コミュニケーション協議会の活動を推進するために、各部会に所属する各団体の力を集めて活かす方策として、毎月一回程度部会を定期的に開催し、各団体の連携・協働により、より広範囲で効果的な課題解決を目指します。

地域団体がうまく連携・協働することで、効率的な役割分担、地域の一体性の確保及び地域活動の相乗効果など、地域に新しい価値を生み出し、自分たちが行う活動

づくり平屋建て約八十二平方メートル、南隣に新築していた高松市消防車庫、待機室、ホース干し台などがあり、地域の消防防災の基地として活用されます。

古高松分団 第二部屯所が完成

をさらに向上させる基盤が作られます。

・安全で安心な交通環境の実現

のため、キャンペーンを実施するとともに、地区内の交通

施設の点検を実施する。

・災害発生時の要援護者対策の取り組みなどを進める。

・婦人による家庭防火の啓発に努める。



「歩き人」らと一緒に帰途につく子ども達

古高松地区青少年健全育成連絡協議会を中心に活動している「歩き人」が、本年度から増員、強化されました。連合自治会などの協力を得て増員を呼びかけた結果、新たに七十六人が参加し、百七十余人となりました。登下校時や放課後、黄色の腕章をつけて子ども達の安全を見守っています。特に古高松、古高松南両小学校の集団下校時には、七月十日を初回に年度内に六回実施する予定です。

「歩き人」増員、活動を拡大強化

トピック

「ハールとマナーみんなですすめよう」街頭大キャンペーン

七月七日、コミュニティ協議会環境安全部会による交通安全キャンペーンが、春日町の宮の原交差点で行われました。

県民総ぐるみ運動の一環で、午前七時から総勢七十二人が参加し、安全運転を呼びかけました。四月十日にも「四国八八交通事故抑止キャンペーン」を春日町の県道交差点で実施しました。



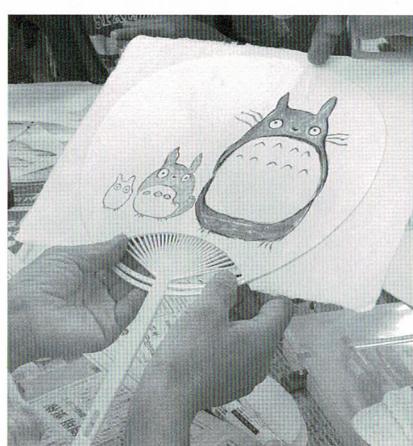
のぼり、プラカードで安全運転を訴える参加者

親子で食の大切さ学ぶ

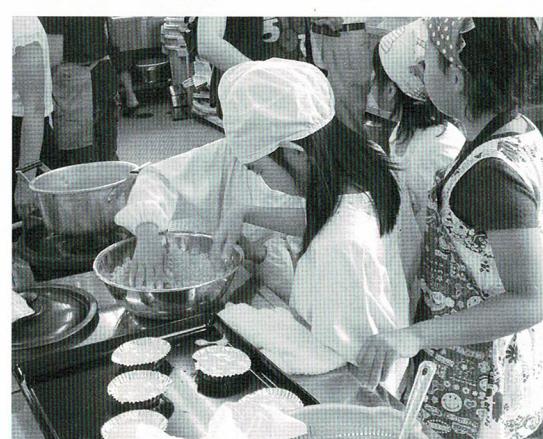
七月十九日、古高松地区婦人防火クラブを対象にしたリーダー研修会が、古高松コミュニティセンターホールで開かれました。

新田、春日地区、さつきヶ丘、高松町の各婦人防火クラブのリーダーら約六十人が参加し、高松東消防署の筒井真救命係長らを講師に迎え、AED（自動体外式除細動器）を用いた救命処置や、三角巾による止血法などについて熱心に実技訓練を受けました。

救命救急チームに婦人防火クラブリーダー研修会



真剣にうちわ作り



お菓子作りに励む子ども達

つぶりのお菓子を作ろう」が行われました。人気の行事で参加者も多く午前、午後の二回に分かれて、「バナナ蒸しパン」、「豆乳プリン」、「きな粉あめ」の調理にチャレンジしました。

思い思いに楽しい体験、夏休み子ども講座開催

夏休み中の子ども達にセンターを開放する講座が、七月末の「フェルトを使つた小物作り」から始まり、八月末までに「習字教室」、「ガラス工芸体験（サンドブロスト）」、「折り紙建設」、「親子料理教室」、「環境教室」、「児童体操教室」が開かれ、好評でした。環境教室では、うちわ作りに挑戦しました。



AEDを用いた救命処置の研修風景



旧高松城まつり

古中運動場が会場に!

盛夏のふるさとを彩る平成二十一年度古高松地区地域ふれあい交流事業の「旧(ふる)高松城まつり」は、七月二十七日(日)午後三時半から初めての会場となつた古高松中学校運動場で開かれました。

第一回以来の菱の池公園(高松町)からこの変更で、北方の屋島をバックにメーンステージが組まれ、東西に本部席やバザーコーナーなどテント村が出現し、ゆつたりしました。

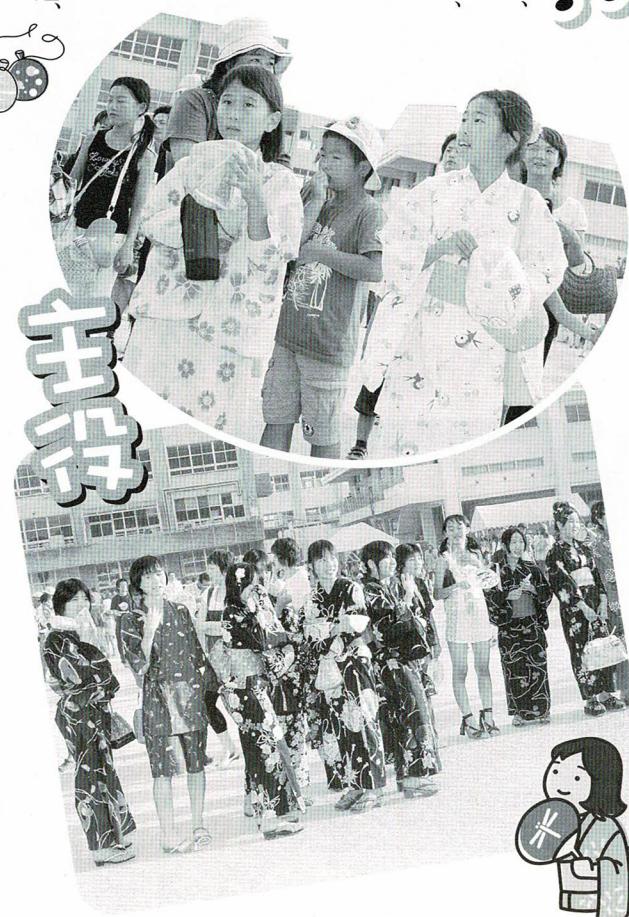
開祭式、恒例の祝い餅投げに続いてステージでは、コミュニティセンターの同好会メンバーの出演による舞踊、民謡、大正琴演奏や、

猛暑吹っ飛ばしフライバー!!

保育園児のかわいいエイサー太鼓、勇壮なふれあい太鼓、ジャズ演奏などが繰り広げられました。また、慢大会では自慢の歌声を競い、さかんな拍手を受けていました。

テント村では、各団体のバザーや露店が開店し、繰り出した浴衣がけの家族連れらで大賑わい。日中三十六度の猛暑を吹き飛ばすほどのファーバーブリでした。

なお、祭りの最後を飾る打ち上げ花火は、打ち上げ場所に予定していた駐車場の安全確保から急遽、中止となりました。



気楽に利用、健康増進・体力アップ



地元のフットサルチームなどがさっそく対戦

市民スポーツの 新しい拠点



人工芝のゲートボール場でゲーム開始!!



アスレチック遊具が楽しめる児童用広場

東部運動公園まで歩こう 「レッツウォーキング講座」開講

古高松保健委員会との共催で11月13日午前9時30分：古高松センターを出発、地域ふれあいウォーキングルートに沿って歩き、東部運動公園で昼食、午後2時：出発地で解散。

■講師／十河節子さん ■募集人員／50名。
■費用／500円(弁当代) ※お申し込みはセンターまで

高松市が高松町で整備中の東運動公園の一部が完成、七月東十二日にオープンし、大西秀人市長、菰渕将鷹市議会議長ら関係者が出席して記念式典が行われました。

各場装のゲートボール・フットサル、土のグラウンドの多目的広場、各種の遊具が揃うトリム広場。

この日は、早速、地元のスポーツ少年団や老人クラブの人たちが、プレーを楽しみました。全面オープンは、平成二十五年の予定。今後、サッカー場、野球場、弓道・アーチェリー場、山道利用のウォーキングコースなどが整備され、市民の新しい健康増進、スポーツの拠点として期待されています。

高松市東部運動公園部分オープン



関係者約30人が出席して記念式典



平行棒など健康用遊具で体力アップも!

●問い合わせ●

高松市公園緑地課東部事務所 (☎843-9446)

平成二十年度

- ③赤ちゃん・幼児コーナー
④パネル展示

日赤奉仕団古高松分団
日頃の活動ぶりをパネル展示。

踊りと音楽公演

「よさこい演舞連「ほろろ」」
(十一月一日十一時～十二時
・屋外広場、雨天：図書スペース)

毎年恒例のバザーで、うどん(二〇〇円)、おだし(二〇〇円)、うどん・ちらしづしセット(三五〇円)、ぜんざい(一五〇円)を用意します。調理室で注文し、会議室、図書スペース、屋外広場で食事できます。前売りバザー券はコミュニケーションセンターへ。当日売りも若干あります。

バザー

(十一月一日十時～十四時、調理室)

**古高松
センター会場**

10月31日(金)
～11月2日(日)



出展者を募集し、衣服、ギフト用品、雑貨、手作り品などを販売します。



自慢の力作の展示会場(昨年の資料から)

**作品
品
展**

(十月三十一日九時半～十七時、
十一月一日九時～十六時
・ホール、和室ほか)

アートフラワー、池坊華道、花道
嵯峨御流、生け花小原流、絵画、書
道永和、手編み手芸、はがき絵、俳
句五月会、俳句早蕨会のほか、コミ
セン講座、女性教室の作品を展示し
ます。

**健康コー
ナ**

(十月三十一日十時～十四時
・会議室ほか)

古高松地区保健委員会
①健康チエツク&健康相談
「メタボチエツクしませんか」
②健康に良いおやつの試食、展示
(ゴマクツキート
キヤロットジュース)

学習発表会

(十一月一日十時～十四時、ホール)

カラオケ、詩吟、太極拳、民謡、
大正琴(琴城流)、舞踊美咲会、新舞
踊美扇会、日舞浩路会、子どもバレ
エ、ソシアルダンス、生命の貯蓄体
操、ストレッチ体操など学習の成果
を発表します。



舞台いっぱいに熱演(昨年の資料から)

**バザーコー
ナ**

(十月三十一日と十一月一日十時～
十六時、図書スペース)

お茶のセルフサービスで
おくつろぎください。(雨天：中止)

プログラミングに楽しむ

児を招待しての茶道教室とお茶接待。

古高松南 センター会場

10月24日(金)
～26日(日)

(十月二十五日十一時～十二時)

一般の方を対象とした茶道教室とお茶接待。百人分用意しております。



お点前の手ほどきを受ける園児ら(昨年の資料から)

作品展

十月二十五日九時十五時

絵手紙教室、切り絵教室、書道教室、生け花教室、アートフラワー教室、パッチワーク教室、あそびの楽工、ガーデニング教室、女性教室、子ども体育、ヨーガ、らくらく3B体操。協賛として春日幼稚園、新田幼稚園、古高松南小学校の園児、児童の作品、菊作り、花作り有志の方々の作品を展示します。

お茶会 〔茶道教室〕

(十月二十四日十時～十二時)

春日幼稚園、新田幼稚園の園

同好会あれこれ

「古高松はがき絵同好会」

嶋 本 積 生

作品は会員同志で鑑賞し合い、楽しむほか、コミニティセンターの文化祭や高松市商店街での「展覧会」で、多くの人に楽しんでもらったり、遠くは群馬県の「妙義山麓美術館」主催「日本はがき芸術作家展」に応募し、自分の力量を試したりもしています。

同好会は、毎回終始ごやかな雰囲気で活動しています。絵やスケッチを手がけてみたいと思われる方は、一度会場をのぞいてみませんか。

学習発表会



講演会

（十月二十五日十時）十一時
和室

理学療法士の寒川 多加生き
んが「転倒予防について」のテー
マで講演します。

パネル展
(十月一十四日九時～十七時、
十月二十五日九時～十五時)
一階通路

パネル展

(十月二十四日九時)十七時
十月二十五日九時)十五時

階通路

地区ふれあい ウォークルートを設定

高松市と古高松地区コミュニティ協議会では、健康づくりと地域ふれあいを目的としたウォーキングを実施するため「古高松地区ふれあいウォーキルート」を設定しています。古高松コミュニティセンターを出発点に、義経鞍掛の松・鞍掛地蔵一忠魂社一喜岡寺一高松城跡一古高松三角点一菱の池公園一延命寺一木内龍山碑(古高松小校庭)を巡る全長5キロのコース。それぞれの地点にルートの案内板を設置しています。



ふるさと点描

忠魂社 (高松町帰来)

JR屋島駅から少し北へ行った高松東消防署南隣りにあります。防社は、大正十四年(一九二五)九月、戦前の在郷軍人会古高松分会の主唱によって建立され、殉じた古高松地区出身者者の英靈二百七十九柱が祀られています。社殿の建設に当たっては、分会員が勤労奉仕で新川堤防の補修工事などを請負つて建設工事とです。社のあるこの地は長塚といわれ、戦国時代の天正十三年(一五八五)、豊臣秀吉の四国征討軍を高松城(喜岡城)で迎え撃つて討ち死にしました。

誓いを訴えています。社殿を改修。その完成記念碑には、戦に恒久の平和に向かうと、豊臣秀吉の四国征討軍を高松城(喜岡城)で迎え撃つて討ち死にしました。

JR屋島駅から少し北へ行った高松東消防署南隣りにあります。防社は、大正十四年(一九二五)九月、戦前の在郷軍人会古高松分会の主唱によって建立され、殉じた古高松地区出身者者の英靈二百七十九柱が祀られています。社殿の建設に当たっては、分会員が勤労奉仕で新川堤防の補修工事などを請負つて建設工事とです。社のあるこの地は長塚といわれ、戦国時代の天正十三年(一五八五)、豊臣秀吉の四国征討軍を高松城(喜岡城)で迎え撃つて討ち死にしました。

(絵・清水 純一)



タigureコンサート

熱演に酔う 「タigureコンサートINみなみ」

8月23日に恒例の「タigureコンサートINみなみ」を古高松南センター2階ホールで開催しました。夏のタigure時にオカリナ合奏や歌う小説家『るいまま』の歌、フルートとバイオリンのアンサンブルのほか、南小学校の児童の皆さんの合唱を楽しみました。また『サン』の御協力を得てのパンの即売会も好評でした。当日は、朝、待ちに待った雨が降るなどで、ほんのすこしが秋の気配も感じられるタベとなりました。来年も予定しています、楽しみにしてください。

この事業は、「出前公演」によって優れた芸術に生で触れ、楽しんでもらおうというもので、古高松地区では初めての試み。桂米朝一門のベテラン桂歌之助さんが来演し、「くしゃみ講釈」の一人が、巧みな話芸とアクションで、一時間にわたつて熱演、笑いを誘いました。会場には約百二十人が集まり大入落語の盛況で、上方漫才を満喫していました。



編集後記

○活動や学習の成果を地域に発信する恒例の文化祭。今年は両セントラルの開催日程を一週間ずらして個別開催としたため、地域の方々の参加が容易になりました。そのため、多くの方が来場し、交流、親しくなって欲しい。そんな願いを込めガイドとして欲しくなっています。

地区避難施設に案内板

災害などの際の避難施設として古高松地区では、古高松コミュニティセンター、菱の池公園、古高松・古高松南小学校、古高松中学校の五か所が指定されています。各施設には、それぞれ案内板を設置し防災活動にも活かすことにしています。



熱演の桂 歌之助さん